

第2章 令和4年度事業実績

【 保 健 企 画 課 】

第1 げんき館事業

1 岡崎げんき館利用状況

(単位：人)

令和4年度

令和3年度

利用登録者数		3,322	3,330
区分		利用者	利用者
健康づくりゾーン	プール	28,254	39,085
	トレーニングジム	21,080	16,385
	リラクゼーション	1,276	1,802
	フィットネススタジオ	182	3
	提案教室（SPC主催）	56,073	70,366
	必須提案教室（保健所主催）	3,761	3,805
	健康広場（フットサル）	2,193	1,614
	その他	249	52
市民交流ゾーン	貸室	36,087	29,385
	情報ライブラリー	30,356	32,514
子ども育成ゾーン	プレイルーム	3,457	1,424
	プレイホール	13,789	13,102
	一時託児	1,094	542
	病後期一時託児	68	12
各ゾーンの利用者人数合計		197,919	210,091

2 岡崎げんき館市民会議事業

5つの専門部会により構成されている「岡崎げんき館市民会議」と協働して、健康づくりや子育て支援、市民交流に関する事業を企画・実施している。

(1) 会議開催状況

運営委員会		年5回
専門部会	保健サポート部会	年3回
	運動サポート部会	年4回
	栄養サポート部会	年3回
	子どもサポート部会	年4回
	市民交流部会	休会中

(2) 教室等実施状況

(単位：回・延べ人)

部会名	事業名	実施団体	回数	参加者数
運動サポート	健康づくり講座	愛知県健康づくりリーダー 連絡協議会岡崎支部	18	324
	ウォーキング教室	岡崎市ウォーキング協会	20	323
運動・栄養	地域ふれあい健康教室	愛知県健康づくりリーダー 連絡協議会岡崎支部 岡崎市食生活改善協議会	4	38
栄養サポート	栄養ステーション	岡崎栄養士会 岡崎市食生活改善協議会	4	50
	テーマ別料理教室	岡崎市食生活改善協議会	8	100
子どもサポート	げんきカレンダー事業	岡崎女子大学/ 短期大学げんきクラブ	7	141
	おもちゃ図書館	岡崎市おもちゃ図書館きらら	4	33
全 体	秋のげんきまつり	岡崎げんき館市民会議	1	124

3 岡崎げんき館におけるイベント等の開催

(1) 第38回 岡崎げんき館・せいらけん市民講座

開催日	令和4年7月23日
開催方法	YouTubeで配信
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・講演「ウイルスってどんな形？」 自然科学研究機構生理学研究所 村田 和義特任教授 ・座談会 村田特任教授 × 岡崎高校・刈谷高校の生徒

※せいらけん…自然科学研究機構生理学研究所

(2) げんきまつり

	開催日	内容	参加者
夏	8/29	子ども育成ゾーンの夏まつり	164人
秋	10月15・16日	すこやかキッズ体操体験会、ボクシングエクササイズ、パワーヨガ、健幸かるた大会、血管年齢・握力測定、しなやかストレッチ、郷土料理「鬼まんじゅう」を作って味わおう！、歩幅を知ろう！、姿勢改善美ウォーク！筋力アップ！若々しい身体づくり教室、体験ヨガ！深く呼吸をしてみよう！、かわいいタン布林づくり	255人
冬	1月8・9日	すこやかキッズ体操体験会、子ども体力測定わんぱく度チェック、名古屋グランパス幼児サッカー体験（年少・年中）	65人
春	3月11・12日	子どもげんきクラブ「鳥との会話に挑戦しよう！」、愛知学泉大学ちっちゃなコンサート、キッズダンス体験会（初級）、エアロビクス（中級）、スラックライン体験会	66人

4 保健統計

	名称	目的	対象	備考
国民生活基礎調査等 (厚労省所管)	人口動態調査	我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料とする。	出生、死亡、死産、婚姻、離婚	毎年
	人口動態職業・産業調査	人口動態事象と職業及び産業という社会経済的屬性との関連を把握し、公衆衛生、労働衛生、社会福祉等の基礎調査とする。	出生、死亡、死産、婚姻、離婚	5年毎 (前回R2)
	国民生活基礎調査 ※世帯票、健康票、介護票	保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画立案の基礎資料とする。	令和2年国勢調査時の地区をもとに無作為抽出された調査区	毎年 (R4.6.25地区)
	医療施設動態調査	医療施設の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療機能を把握し、医療行政の基礎資料とする。	開設・廃止等のあった医療施設	毎月
	医療施設静態調査	医療施設の分布・整備の実態を明らかにするとともに、その診療機能を把握し、医療行政の基礎資料とする。	調査時点で開設しているすべての医療施設	3年毎 (前回R2)
	患者調査	病院及び診療所を利用する患者について、その傷病状況等を把握し、医療行政の基礎資料とする。	全国の医療施設のうち、無作為抽出された医療施設を利用した患者	3年毎 (前回R2 14施設)
	受療行動調査	医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を患者から調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を把握し、医療行政の基礎資料とする。	一般病院を利用した患者	3年毎 (前回R2 0施設)
厚生労働統計調査 (厚労省所管)	衛生行政報告例	衛生関係諸法規の施行に伴う都道府県及び中核市における行政の実態を数量的に把握し、衛生行政運営の基礎資料とする。	都道府県、指定都市及び中核市	毎年
	地域保健・健康増進事業報告	地域住民の健康の保持及び増進を目的とした地域の特性に応じた保健施策の展開等を実施主体である保健所及び市区町村毎に把握し、地域保健施策の効率的、効果的な推進のための基礎資料とする。	全国の保健所及び市区町村	毎年
	病院報告	全国の病院、療養病床を有する診療所における患者の利用状況を把握し、医療行政の基礎資料とする。	全国の病院、療養病床を有する診療所	毎月
	医師・歯科医師・薬剤師調査	医師、歯科医師及び薬剤師について、性、年齢、業務の種別、従事場所及び診療科名等による分布を把握し、厚生労働行政の基礎資料とする。	医籍、歯科医籍、薬剤師名簿に登録されている医師、歯科医師、薬剤師	隔年 (前回R4)

名称	目的	対象	備考
保健師等業務従事者調査 (愛知県所管)	保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士及び歯科技工士について、性、年齢、従事場所等による分布を把握し、厚生労働行政の基礎資料とする。	業務に従事している保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士及び歯科技工士	隔年 (前回R4)
社会保障・人口問題基本調査 ※①第7回全国家庭動向調査、②生活と支え合いに関する調査 (厚労省所管)	人口移動に関する新たな傾向を把握し、社会サービス需給の動向に関する基礎的な情報を提供する。	令和4年国民生活基礎調査の調査地区から無作為抽出された調査区	毎年 (R4.7.1 ①0地区②1地区)